

---

地域福祉懇談会 in よしだ（モデル地区）  
結果報告書

---

わたしがつくるみんなでつくる

in よしだ

笑顔あふれる 住みよいまち



平成25年4月

富岡市健康福祉部・富岡市社会福祉協議会

# I 地域福祉懇談会の概要

## 1 地域福祉懇談会の要旨

この地域福祉懇談会は、平成 23 年 5 月に富岡市が策定した地域福祉計画及び富岡市社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画における「公私協働のしくみづくり」・「地域住民の参画と協働」を推進するための市民参加の場と位置づけました。懇談会では、住民が地域福祉の取り組みや現状の課題等について、主体的に話しあうことで、住民同士の助けあい、支えあいのきっかけづくりに資することを目的として開催しました。

そのなかで、地域福祉の推進を市民参加で進めるため、参加者同士が地域福祉の取り組みの現状や課題について考え、話し合い、課題を共有し、またその解決についても参加者が主体的に実践していく方向性を見いだしていくため、参加者を 4 名から 6 名のグループに分け、グループごとに話し合いその結果を他のグループに発表するという方法により進めました。

この報告書は、平成 24 年度モデル地区として開催した結果について取りまとめたものとなっています。

## 2 実施方法

### (1) 実施日時等

	開催日時	会場	参加者数
第 1 回	平成 25 年 2 月 18 日 (月) 19:00~21:00	吉田公民館 大会議室	29 名
第 2 回	平成 25 年 3 月 8 日 (金) 19:00~21:00	吉田公民館 大会議室	27 名

### (2) 実施地区

地域特性等が異なる地区（概ね支部社会福祉協議会単位）を 1 地区として実施します。（今年度は、吉田地区をモデル地区として実施しました。）

### (3) 参加者

対象者は、地域福祉に関心のある市民を対象として、支部社会福祉協議会を中心として協力依頼を行いました。また、区長及び民生児童委員については、重点をおいて参加を依頼しました。

### 3 地域福祉懇談会の内容について

#### (1) プログラム概要

	内 容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 私たちの身の回りで困っていること、地域での課題について考え、課題カードを作成しましょう!! (個人ワーク)</li> <li>◎ 出された意見をグループのみんなで共有しましょう!!</li> <li>◎ 困りごとや課題を分野ごとにグループでまとめてみましょう!!</li> <li>◎ まとめたものを発表しましょう!!</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 前回の困りごとや課題を振り返りましょう!!</li> <li>◎ 解決に向けて何が出来るか話し合しましょう!!</li> <li>◎ 解決に向けてグループでまとめましょう!!</li> <li>◎ まとめたものを発表しましょう!!</li> </ul>

#### (2) 会の進め方

##### 【1日目】

- 1 はじめの挨拶
- 2 趣旨説明
- 3 体操 (アイスブレイク)
- 4 カードを作りましょう
- 5 カードを知りましょう
- 6 カードを集めましょう
- 7 発表 (ポスターセッション)

◆最初は緊張気味の参加者も体操によりリラックスできました。



◆グループでの話し合いの様子。AからFの6つのグループに分かれて話し合いました。



##### 【2日目】

- 1 はじめの挨拶
- 2 体操 (アイスブレイク)
- 3 カードを再確認しましょう (前回の振り返り)
- 4 カードを集めましょう
- 5 解決策を考えましょう
- 6 タイトルを作りましょう
- 7 全体を考えましょう
- 8 発表 (ポスターセッション)

◆最後は、こんなにきれいに課題や解決方法をまとめることができました。



## Ⅱ 各グループで話し合われた内容

### 1 吉田地区の良いところ

---

- お年寄りや子どもたちが元気
- 自然が豊かで歴史があり環境がよい
- 地域の人が協力的で絆が強い
- あいさつを出来る人が多い

### 2 地域の課題や現状

---

#### ○ 交通について

- ・高齢者が買い物をする場合、運転できないと近くに大型店がないので不便。
- ・近くのスーパーがなくなり、買い物は、近くても一ノ宮や下仁田まで行かなくてはならないため不便である。
- ・買い物を車で出来なくなったときのことを考えると本当に不安になる。
- ・電車も本数が少なく、乗り合いタクシーもないため公共交通機関が利用しづらい。
- ・病院が近くにないため、高齢者が通院するのにタクシーでは大変である。何か代替えがないものか。
- ・車がないと移動できないため、公民館に近い人でないと事業にも参加できない。
- ・特に神成地区、上小林地区の住民に移動手段がない人が多く、行事などにも参加できない。

#### ○ 地区役員について

- ・地区役員を引き受ける人がいなくて困る。
- ・地区役員が高齢化により対応できなくなってきている。
- ・高齢化により同じ人がずっと任されるケースが出てきている。
- ・地域コミュニティが衰退してきている。役員が選出できないため新たな方策（選出方法や組織編成）を考えていかなければならない時期が来ている。

#### ○ ゴミの問題について

- ・ゴミの分別が出来ていない。また、カレンダー通りに出されていない。
- ・ゴミのマナーを守れない人がいる。通勤途中に決められたところ以外の人がおいていたりすることがある。
- ・分別が不十分である。高齢者が細かく理解できないのではないか。

#### ○ 医療の問題について

- ・病気になり入院が必要となったとき、満床で入院できないことがあるのは困る。
- ・富岡総合病院は、紹介状が必要であるが無い場合でも受診できないか。
- ・病院の情報が入手しづらい。分かりやすく的確な情報が欲しい。

- ・高齢になり病院にかかることが多くなったが、たらい回しにあい大変だった。
- 子どもたちについて
- ・街灯が少なく暗い場所があり心配である。
  - ・子どもの遊ぶ場所が少ない。
  - ・通学路で道路を横断する危険な箇所が多く、事故も起きている。
  - ・道路で自転車の練習をしたり、遊んだりして危険。
  - ・子どもの数が減っている。
- 高齢者について
- ・高齢者で運転をする人が多いが、マナーが気かりである。
  - ・ひとり暮らしが増え、孤独死等があるため声かけ見守りが必要となる。
  - ・高齢者が増えているため、バリアフリーの推進が必要である。
- 土地の問題について
- ・農地が荒れ、防犯・防災の面からも好ましくない。
  - ・若い人がやらないので、空き農地が増えている。また、危険なところもある。
  - ・イノシシ等が多くなってきて対策が必要である。
- 雇用の問題について
- ・若い人が地元で働く場所が少ない。企業の誘致が必要。
  - ・適齢期でも結婚しない人が増え、正規の職員でないと相手も見つけにくい。
  - ・子どもが地元での就労を希望しているが、就職先が少なく見つからない。
- 生活環境について
- ・猪、猿、熊などが民家近くに出没していて、安心して生活が出来ない。
  - ・犬の糞を片付けないマナーの悪い人がいる。
  - ・消防車も入れない細い橋があり緊急時に困る。
  - ・住民同士の交流が少なくなっていて、他所から来た人がとけ込みづらい。
  - ・子どもやお年寄りが交流できる場所が少ない。
  - ・地域の高齢者や障害者がいることを知らない場合が多い。災害時にも対応できる地域づくりが必要である。
  - ・通学路に歩道がないため、グリーンベルトや自転車専用道路が必要。
  - ・伝統行事の際、高齢化により若い世代に上手く引き継げるか不安。
  - ・家畜を飼うと苦情がくる。
  - ・公民館の利用頻度が少ない。



### 3 課題の解決に向けての取組み

---

#### ○ 交通の問題

- 買い物に困っている高齢者の実態調査を試みる。その調査を基にシルバー人材センターや移動販売者等に依頼する。乗り合いタクシーについても検討してもらう。
- 上信電鉄が、運転免許証返納した高齢者の運賃半額を行っているので、もっとPRする。
- 地域の行事の時、乗り合いタクシーを借用して公民館まで送迎を行う。
- 移動手段に関わる身近な情報をもっと詳しく丁寧に知らせる手段を考える。
- 生協やパルシステムをもっと上手に使う。
- コンビニエンスストアと提携して宅配をしてもらう。
- カーシェアリングを試みる。
- 各地区に小規模なスーパー的なお店を開く。

#### ○ 地区役員

- 地域の組織を見直す。(本当に必要な役を絞り込む。)
- 地域の役員数を見直す。
- 組の単位を大きくする。(組の統合等を行う。)
- 役の重要性をみんなで認識する。
- みんなが担ってくれる地域になるようにする。
- 現任者が後継者を育成するシステムを作る。
- 80歳を超えたら免除にする。
- 役員が活動に必要な情報を市に情報提供してもらう。

#### ○ ゴミの問題について

- ゴミ出しの確認のための係を決めて、残されたものを連絡する。
- ゴミ袋に組の番号を記入して出す。
- 空き缶をリサイクルするとポイントがもらえるシステムを作る。
- ゴミ係を作り、ゴミステーションでの確認や指導を行う。
- ゴミカレンダーを分かりやすくする。ゴミステーションの清掃を行う。
- 出す人で意識を高め責任を持つ。
- 分別をもっと大まかにして、ゴミステーションに施錠する。

#### ○ 医療の問題について

- 吉田地区独自で病院や施設などの情報が説明されたパンフレットを作成する。
- 健康を保つため、健康教室に参加したりして運動をする。

#### ○ 子どもたちについて

- 反射ベストの着用を推進する。
- 地域ボランティアによるパトロールを行う。

- 危ないところや暗い場所について、学校をつうじてアンケート調査を行う。これにより地域と学校の繋がりも深まる。
- 夜間、地域の人により実際に歩いてみて暗いところ危ないところを調査する。
- 暗い場所については、区長に依頼して街灯を設置する。
- 3世代家族の推進をする。

#### ○ 高齢者について

- 文章は、高齢者が分かりやすいように大きく箇条書きにする。
- 高齢者対象の運転講習会を開催する。
- 「向こう3軒両隣」用事が無くても声かけをして、地域のコミュニケーションを図る。
- 男性の居場所づくりのため、空き家の調査を行い、居場所づくりをする。

#### ○ 土地の問題について

- 休耕地を有効活用するため、子どもやお年寄りのために使ってもらおう。
- 都会の人へ遊休農地を貸し出し、観光にも繋げる。
- なぜ荒れ地になってしまっているかの実態調査を行う。
- 荒れ地になっているところに花を植えて花いっぱい運動を行う。

#### ○ 雇用の問題について

- 耕作放棄地を集めて工業団地を造成する。
- 若い人に労働意欲を持ってもらい企業に進出してもらう。

#### ○ 生活環境について

- 鳥獣対策として山の中に餌置き場を作る。
- 地域の行事を増やし、お隣さん同士声を掛け合い誘い合いながら参加する。
- 若い世代の人に地域の大切さを理解してもらい、積極的に参加してもらう。
- 散歩と併せて犬の糞のパトロールを行う。
- 各地区に様々な障害を持った方、高齢の方の情報誌を地域で作成する。
- 伝統行事存続の危機にあるため、小中学校と連携をして継承する。

## 4 今後の展望

懇談会は、同じ地域で暮らす人同士が意見を言い、理解し合いながら自分たちの暮らす地域の課題について考え、出来ることを確認しあうという流れで開催します。この流れは、「自分たちが主役」であるということや生活圏域それぞれに抱えている問題も違うということ認識するための大きなきっかけとなってくるのではないのでしょうか。この懇談会を開催することは、今後、地域福祉を推進するために大きな意義があると考え、富岡市全域で開催されることが望ましいといえます。

また、一つの地域で一年限りでの開催では、この効果を大きく見込むことは出来ません。懇談会が、各地域で継続的・自主的に開催できるようになっていくことが理想的な形態であると考えています。

現在は、市と社会福祉協議会の職員が、進行役を担っています。しかし、その方法で富岡市全域を対象に継続的に開催するには限界があります。継続的に展開するには、地域の住民が主になって運営することを考える必要があります。このため、開催するなかで地域の中心的な役割を担える人材を育成し、地域で主体的に懇談会が行えるように取り組んで行くことが重要となります。

### —参考資料—

項 目		地域の状況	市全体の状況
人口		3,273 人	52,667 人
世帯数		1,150 世帯	18,888 世帯
年少人口・0～14 歳（年少人口率）		352 人（11%）	7,040 人（13.4%）
生産年齢人口・15～64 歳（生産年齢人口率）		1,947 人（59%）	31,905 人（60.5%）
高齢人口・65 歳以上（高齢化率）		974 人（30%）	13,732 人（26.1%）
民生児童委員数		7 人	95 人
主任児童委員数		1 人	11 人
要介護・要支援認定者数（対人口比）		152 人（4.6%）	2,464 人（4.7%）
障害者数 （手帳保持者数）	身体障害者手帳	126 人	1,852 人
	療育手帳	19 人	333 人
	精神保健福祉手帳	17 人	209 人
高齢者世帯数		136 世帯	4,290 世帯
独居高齢者世帯数		101 世帯	2,093 世帯
母子父子世帯数		9 世帯	544 世帯
小学校児童数		140 人	2,823 人